

市議会選挙得票

順位	氏名	得票数
1	木村 清貴	2,708
2	土田百合子	2,609
3	遠藤 忠裕	2,129
4	高橋 大	2,022
5	佐藤 徳雄	1,919
6	佐藤 功	1,882
7	佐藤 忠久	1,869
8	佐藤 誠洋	1,835
9	青山 豊	1,801
10	斎藤 光司	1,780
11	高橋 聖悟	1,760
12	佐々木喜一	1,753
13	壽松木 孝	1,734
14	田中 敏雄	1,714
15	奥山 豊	1,696
16	土田 祐輝	1,675
17	小沢 秀宏	1,636
18	塩田 勉	1,635
19	佐藤 清春	1,630
20	播磨 博一	1,617
21	石山 米男	1,608
22	小野 正伸	1,603
23	立身万千子	1,599
24	齊藤 勇	1,597
25	菅原 恵悦	1,582
26	阿部 正夫	1,536
27	鈴木 勝雄	1,504
28	佐々木 誠	1,455
29	堀田 賢逸	1,431
30	高橋 勝義	1,424

新年明けましておめでとうございます
 おかげさまで二期目も横手市議会議員として働くことが出来る
 ことになりました。ありがとうございます。特に今回は新人が
 7名当選、現役が6名落選すると言う、厳しい選挙であっただけ
 にその責任の重さを感じております。また、投票率が大幅に下がっ
 たことが目に付きました。立候補者前回は73名、今回40名と、
 比べれば当然かもしれません、投票区変更で投票所が遠くなっ
 たことで、高齢者や車を持っていない方の棄権につながり、拍車
 をかけたと考えられます。投票区変更で投票所を遠くしたことは
 選挙への参加である投票権の行使に悪影響を及ぼすことになっ
 ています。
 合併から五年目、新庁舎、ごみ焼却場、学校施設などまだまだ多く
 の問題もあります。議会は老若男女がおり、職業もまちまちで各
 種各様の意見が出されることこそが大切だと考えています。これ
 からも公正で合理的かつ能率的な市の行政運営が行われるように
 チェックしてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



ご支援に感謝
二期目の議会がスタート

堀田 賢逸



発行所
堀田賢逸後援会
平鹿町醍醐字醍醐98-2
Tel 0182-25-4011
E-mail: igohotta@amber.
plala.or.jp



年頭に当って

後援会長 代行
佐藤 紘蔵

日時の過ぎるのは早いもの
 で、自分が後援会長代行を受
 け継いで一年余りが過ぎまし
 た。

簡単に受けた処までは良し
 として、過ぎた一年の重みは、
 今考えてみますと重大な責任
 ある事でありました。

今回の選挙に對しまして、
 後援会の皆様や地域の方々の
 心温まる協力を頂きました事
 に厚く感謝申し上げます。自
 分の力不足もありまして、不
 本意な結果であったことを皆
 様におわび致します。選挙は
 水物、原点に返り、対策を見
 つめ直すことが大事と思っ
 ております。しかし、当選を果
 たせたことは、心底「良かった」
 の一言に尽きます。
 昨年は、国において、政権

堀田賢逸後援会総会のご案内

「認知症介護の実態」を寸劇で
わかり易く上演します。



日時/平成22年1月31日(日)午後2時
 場所/醍醐高齢者創作館
 出演/かがやきネット劇団(横手市)
 寸劇時間/約30分

- 寸劇終了後、総会と懇親会を
開催いたします。
- 懇親会費/1,000円
- 年会費/500円

交代となる出来事がありまし
 た。しかし、3ヶ月余りで黄
 信号が出る状態で難しいカジ
 取りが強いられています。都
 会型政治で地方には何もメ
 リットが無いように思えます。
 また、農業行政もしかり、赤
 松農林大臣の大湯村の減反非
 協力者をかばい立てする発言
 で、秋田農政は揺れ動いてい
 ます。今年の計画さえ立てら
 れない現状です。唯一の救い
 は、国道拡幅計画は見直しさ
 れること無く、続行されるこ
 とが決まったことです。

政治にうとい私ですが、寂
 しさと怒りの気持ちしか出な
 い政治はごめんです。今年こ
 そ、景気が回復して明るい展
 望が見えるようにして欲しい。
 今年も、後援会の基盤を磐
 石にし、住み良い街づくり
 繋げる地域活動ががんばって
 まいります。皆様方のご理解
 ご協力を切にお願い申し上げ、
 新年のご挨拶いたします。



明けましておめでとうございます
 ▼期待していた生れたばかりの新政
 権はもう老化したみたいにもたつ
 ている▼農家も生産計画がたてられ
 ず至極迷惑だらう▼農家の頭痛のた
 ね生産調整は農林大臣が大湯村の特
 赦するかのような発言だけならとも
 かく従順な本県農民を脅かすとは解
 せない▼ふりかざした所得補償は一
 応格好いいが本音は経費補償であり
 産地作り(担い手)や土地改良等の
 交付金を半減させての所産である▼
 所得補償の対象面積は生産目標数量
 の換算面積であり、加工米、米粉、
 飼料米の作付面積と自家消費分の十
 アールは対象外である▼一方、自給
 率向上、耕作放棄地活用の美名のも
 と米粉、飼料米づくりの目玉商品、
 大湯村では取組むとの報だが果たし
 て需要があるのかどうか懸念される
 ところである▼米粉が小麦粉の代用
 品である限り望み薄とみて本家本元
 の小麦を作らせた方がいいと思う▼
 いずれにせよ平成二十二年度の米の
 生産量は多分目標生産量を上回り米
 価は更に下落するだらう▼今から消
 費者側は所得補償があるから米価を
 気にすることはなからうなどとうそ
 ぶいているから始末が悪い▼ことは
 どうあれ生産物は売らなければなら
 ない▼売れる米、売れる麦、売れる
 豆でなければいけない▼トレサビも
 この七月法制化されたし責任のもと
 る商品であることが条件となる▼今
 後は生産販売の新分野開拓も必要だ
 ろう▼ここは農家諸兄の頑張りどこ
 ろであり心から健康を祈る次第で
 ある。

議会報告

議会の構成が決まる (臨時議会)

11月10日 議長に石山米男氏、副議長に塩田勉氏決まる。
私は厚生常任委員会所属となりました。

会派決まる

横手市議会は会派代表者制を取っています。私の所属会派は「ニューウエーブ」で、会派代表の佐藤徳雄氏、小沢秀宏氏、青山豊氏と私の四人で会派を作りました。

監査委員に任命されました (12月定例会)

11月の臨時議会終了後、議員全員懇談会で議会選出の監査役に推薦され、12月9日市長提案に議会が同意し、当日五十嵐忠悦市長より辞令をいただきました。
監査委員は、地方自治法に基づき設置さ

監査年間スケジュール

監査等の種類	月											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
定期監査		●					●	●		●	●	
随時監査			●	●								
財政援助団体等監査						●	●	●				
例月現金出納検査	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
決算審査 (公営企業)				●	●							
決算審査 (一般、特別、基金)						●	●					
決算審査 (国庫水道事業特別会計5会計)				●	●							
健全化判断比率審査				●	●	●						
資金不足比率審査				●	●	●						



待っています。益々忙しくなると思いますがガンバリマス。

果樹振興議員連盟会長になりました

会の目的は果樹農業の推進により農業振興を図り横手市の繁栄に貢献することです。

りんごの選果場が出来たのは横手選果場、昭和42年、新しい増田選果場は平成8年であります。保管するための冷蔵庫は横手が昭和43年、な



どと古くなっています。りんごの値段も低迷し、りんご農家も高齢化で先行きが不安視されています。

そのため私は販路拡大の妨げとなつていりんごの皮むきを無く

し、ごみの出ないカットリングを作る事によって学校給食に使えないか何年も考えておりました。そうしたら青森県平川市碓ヶ関に平成20年6月設立された会社があることを知り

横手市は秋田県のりんごの半分以上を生産している産地です。土もりんごに適しており、味には定評があります。この産地を壊さず発展させるため、後は販路なのであります。

カットリングの研究に明かりが見えてきましたので研究を続けたいと思います。横手市果樹振興議員連盟は市町村合併後に発足(加盟議員26名)し私は副会長になりました。

今回、議会の改選後再結成(加盟議員24名)され会長になりました。

私自身がりんご農家であることから特にりんごの消費拡大や放任園対策に興味を持っておりです。果樹振興議員連盟は今後も定期的な勉強会を開くなど、議員個人個人の成果に資することが出来るよう頑張りたいと考えております。

林業活性化議員連盟会長になりました

林業活性化は横手市でも重要な問題であります。横手市森林組合では秋田スギニカ(スギ集成材加工業)への売掛金が3億6780万円もありスギニカでは木材流通、価格の低迷によりその返済に苦慮しています。森林組合関係では130人の方が働いています。

国連気候変動枠組み条約締約国会議(COP15)が米国と中国の両大国に左右され、なんら成果も見ずに終わってしまいました。この問題でも私は地域で出来ることは地域から始めるべきと考えています。

そのために、利用されていない間伐材をペレットストーブに活用することによって林業の活性化と地球温暖化防止の一石二鳥の対策を取るべきと提案します。

県では「森づくり税」として4億8千万円もあるとか、これの活用も考えていきたいと思います。(30名全員加盟)

横手市議会の議員連盟はこのほかにスポーツ議員連盟

(会長 小沢秀宏 30名全員加盟) 消防議員連盟(会長 播磨博一 9名加盟)が活動しています。

編集後記

本誌は1年ぶりの発行になります。

厳しかった2期目の市議選挙でどうか議席を与えていただき、こうしてお目の掛かる事ができます。堀田議員には心を新たに頑張っていただきたい。選挙公約で多くの候補者が生活重視を掲げておりました。財政難の中で何を優先すべきかの選択は非常に難しい事だと思います。そういう時こそ、民意を問う市井の声を聞くことが大切かと思ひます。「風」がその役割を担えば最高と思ひます。会員各位の声を是非お聞かせください。